

飫肥スギの年輪構成

宮崎大学農学部 大 塚 誠

飫肥スギ材の材質特性の手がかりを得るため、年輪幅の変動、年輪間の細胞数、年輪界における早、晩材部細胞の径比、について検討した。

供試木および実験方法

飫肥スギ 2本 (No. 129, 胸高直径35cm, No. 140, 胸高直径20cm, 飫肥営林署), 吉野スギ (宮大田野演習林), ウラセバ尔斯ギ (日田), 八郎スギ (広島), 秋田スギ (青森, むつ営林署) の6本を供試木とした。

それぞれ、地上4m部分の樹幹の、髓から3, 5, 10, 20, 25, 30年輪目の6年輪について、木口断面の永久プレパラートを作り、1年輪間の細胞数と、年輪界における晩材部最外側の1細胞と早材部最内側の1細胞における細胞径、膜厚の比、早材部細胞径/晩材部細胞径、を測定算出した。年輪幅は4半径方向に、肉眼にて測定し平均した。

結果と考察

1. 年輪幅

樹幹横断面の半径方向の年輪幅変動は、樹種の特性立木密度、立地条件などによって、変形をうける。しかし、林木には固有の生理的パターンが存在するはずである¹⁾。

そこで、飫肥スギについて、小径木および4号弁甲材 (材長6m) として造材されたもの32本の平均、三

ツ岩参考林として保存されていた81年生の大径木 (胸高直径73cm), での年輪幅変動を測定し、図-1に示す。最大年輪幅を示すのは、髓より5年輪目で、1cm程度の広い年輪幅をもつ部分は、数年輪間である。15年輪以上の成熟材部では、0.2~0.4cmの年輪幅となる。飫肥スギは年輪幅が広いと云われるが、今回の調査では、0.5cm以上の広い年輪幅が連続して存在することは、見られなかった。

吉野スギ、ウラセバ尔斯ギ、八郎スギ、秋田スギでの、年輪幅変動と比較しても、成熟材部ではほとんど差は見られない。未成熟材部では、飫肥スギの年輪幅は他のものよりもはるかに広く、幼令期の肥大成長が旺盛なことを示している。

2. 年輪間の細胞数

年輪幅 (W_a) と細胞数 (N_c) との間には、高い相関関係を有し、直線式で表される。しかし6供試木間には、ほとんど差は見られない。6供試木を含めた場合の関係式は、

$$N_c = 35.13 W_a + 3.27 \text{ で表わされる。}$$

3. 年輪界における早晚材細胞比

年輪界における晩材部細胞と早材部細胞の径比は、表-1に示すように、飫肥スギは他のスギより R_E/R_L がかなり小さな比率になる。このことは顕微鏡観察によっても認められるように、飫肥スギの早材部形成時の最初の細胞径は、第2細胞以後の細胞より扁平であることを示している。他のスギでは扁平な第1早材細胞は認められず、早材部形成の最初から、 $R_E/R_L > 1$ の細長の早材細胞が形成されている。

細胞膜厚の早晚材の比は0.5~0.6で6供試木間にはほとんど差異は認められない。

飫肥スギにおける年輪界での細胞径の変動は、扁平厚膜の晩材細胞から、急に細長な早材細胞にはならず、多少扁平な早材細胞を、1細胞形成し、その後に細長の早材細胞を形成している。このような細胞の形

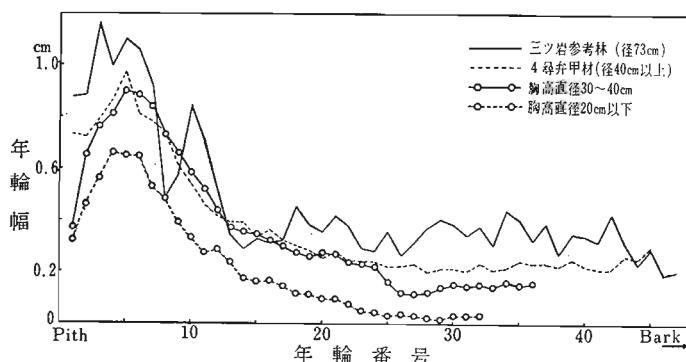


図-1 飫肥スギの年輪幅変動

成状態が、飫肥スギの材質に何らかの影響をおよぼしていると考えられる。

参考文献

- 1) 田島俊雄 木材学会誌, 17, 423 (1971)

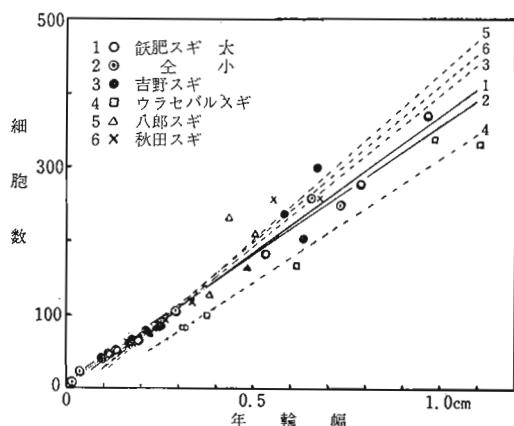


図-2 年輪幅と細胞数

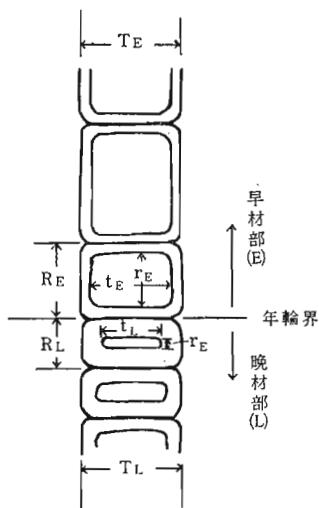


図-3 細胞模式図

表-1 年輪界における早晚材細胞比と細胞数の平均値

	早材細胞 / 晩材細胞								細胞数/ 年輪幅							
	細胞外径		細胞内径		膜厚											
	半径方向	接線方向	半径方向	接線方向	半径方向	接線方向	半径方向	接線方向								
飫肥スギ №129	2.3	<u>2.5</u>	2.6	1.2	<u>1.3</u>	1.5	6.5	<u>12.5</u>	17.0	1.4	<u>1.7</u>	2.0	0.38	<u>0.52</u>	0.65	32.0
" №140	1.9	<u>2.4</u>	3.4	1.1	<u>1.2</u>	1.5	8.5	<u>10.9</u>	14.0	1.2	<u>1.6</u>	1.8	0.75	<u>0.60</u>	0.42	42.7
吉野スギ	2.4	<u>2.9</u>	3.1	1.1	<u>1.2</u>	1.3	9.0	<u>15.2</u>	22.0	1.2	<u>1.5</u>	1.8	0.38	<u>0.57</u>	0.80	37.8
ウラセバ尔斯ギ	3.0	<u>3.3</u>	3.8	0.9	<u>1.1</u>	1.3	14.8	<u>22.8</u>	27.0	1.2	<u>1.4</u>	1.6	0.33	<u>0.48</u>	0.60	29.2
八郎スギ	2.3	<u>2.8</u>	3.6	1.2	<u>1.4</u>	1.7	5.5	<u>15.1</u>	23.1	1.6	<u>1.8</u>	2.3	0.38	<u>0.55</u>	0.75	37.7
秋田スギ	2.7	<u>3.7</u>	4.7	1.2	<u>1.5</u>	1.6	5.6	<u>12.4</u>	16.7	1.2	<u>1.6</u>	1.8	0.67	<u>0.77</u>	1.00	37.9